

UI-55A 取扱説明書

PCD-400A 用ワンタッチタイプ入力アダプタ

本製品の一部または全部を無断で複写・複製することを禁止します。
本製品は株式会社共和電業の著作物であり、その著作権は株式会社共和電業に帰属します。
取扱説明書の内容、標準付属品の内容、製品の仕様は、予告なく変更することがあります。

(株) 共和電業

安全上のご注意（ご使用前に必ずお読みください）

ワンタッチタイプ入力アダプタ UI-55A は、センサインタフェース PCD-400A 専用の入力アダプタです。
本製品は、EMC 規格の EN61326-1 に適合しています。
本取扱説明書および使用する PCD-400A の仕様を外れるような環境では絶対に使用しないでください。
故障の原因になる可能性があります。

ご使用前に

ご使用に際しては、下記の安全事項を必ずお守りください。なお、これらの警告・注意に反したご使用、誤ったご使用、不適切なご使用により生じたあらゆる損害につきましては、株式会社共和電業はその責任を負いません。

注意表示について

安全にご使用していただくために、本取扱説明書および本器には下記の警告・注意表示が使用されています。

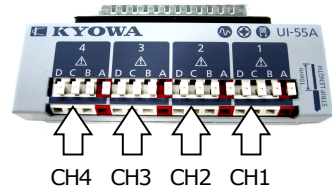
 警告	取り扱いを誤った時、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。
 注意	取り扱いを誤った時、使用者が損害を負う危険が想定される場合、および物的損害の発生が想定される場合。

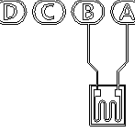
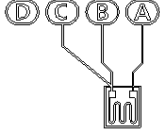
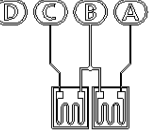
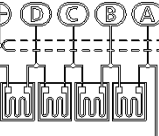
 警告
● 火災や爆発事故を防止するため、引火性ガス、引火性蒸気、引火性粉塵のある場所では使用しないでください。 ● 湿気やほこりの多い場所や油煙が当たる場所では使用しないでください。 ● 発煙、発火、異常な発熱があった場合には、すぐに使用している PCD-400A の USB ケーブルと AC アダプタを外し、電源を切ってください。 ● 変換器からのケーブルを端子台に挿入する時はリード線の適切な先端処理（被覆剥きしろ 9~10mm）を行い、銅線のひげが出たりしないように注意してください。測定不良やショートなどで感電や火災の原因となることがあります。
 注意
● 直射日光のあたる場所、高温になる場所、湿気やほこりが多い場所では保管しないでください。 ● 水に濡らさないでください。また濡れた手で取り扱わないでください。 ● 接続ケーブルは接続部に無理な力が加わらないように余裕を持たせて接続してください。引っ張ったり無理な力を加えたりすると故障や測定不良の原因となります。 ● 本器を改造した場合、それによる故障、損害、事故が発生した場合、弊社では一切その責任を負いません。 ● 本器は、ひずみゲージ、ひずみゲージ式変換器を接続するアダプタです。測定対象物以外のセンサを接続すると故障の原因になります。 ● 端子台の耐久回数は、約 100 回です。何度かリード線を取り外したりを繰り返すと、端子台の勘合が緩くなったり、損傷する場合があります。この場合はご使用をやめ、新しい UI-55A を購入してください。

1. ご使用方法

1-1 端子部分への接続

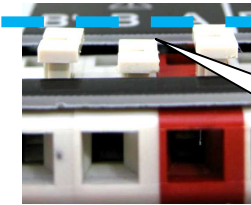
端子台にひずみゲージのリード線または変換器のケーブルを接続してください。
ゲージ接続方法は下図を参照してください。



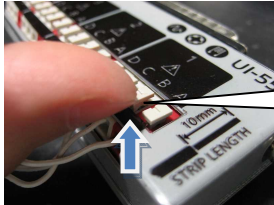
適応ゲージ法	1 ゲージ法 2 線式	1 ゲージ法 3 線式	2 ゲージ法	4 ゲージ法
接続方法				
適応ゲージ抵抗	120Ω	120Ω	120 ~ 1000Ω	120 ~ 1000Ω

ご注意

- 端子台にゲージリード（ひずみゲージから直接出ているリード線）を直接接続しないでください。断線する可能性があります。ゲージ端子を用いて使用可能な電線範囲のリード線に変換するか、リード線付ゲージをご使用ください。
- リード線は被覆を約 10mm 剥離して端子台に挿入してください。
被覆を 10mm 剥いたリード線の見本図を、本器上面に実寸法で表記しています。被覆を剥く際の目安にしてください。
- 端子台のボタンを押した状態でリード線を挿入し、ボタンを離すとロックがかかります。
必ず端子台のボタンを押しながらリード線の挿抜を行ってください。
- 使用可能な電線範囲は以下のとおりです。
単線の場合 φ0.3 ~ φ1.6mm (UL AWG28 ~ 14)
撚線の場合 0.2mm² ~ 1.3mm² (UL AWG24 ~ 16)
なお、使用可能電線範囲外のリード線を使用した場合には、断線や接続不良が発生しますので必ず範囲内のリード線を使用してください。
- 端子台の耐久回数の目安は、1 日 2 回のリード線の挿抜で、20 日／月で使用した場合、約 1 年です。
リード線の抜き差しを繰り返すと、端子台のボタンの戻りが悪くなり、リード線との嵌合が緩くなる場合があります。その場合は、リード線を接続した状態で、端子台のボタンを爪で押し上げてご使用ください。



中央のボタンが
戻りきっていない

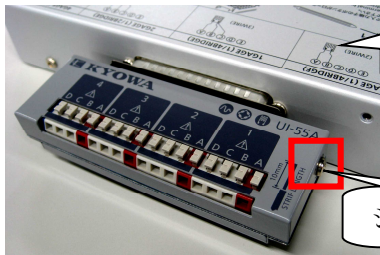


爪でボタンを
押し上げる

- ワンタッチ式端子台は、樹脂製です。接続回数の増加により、ボタンが徐々に摩耗し、爪でボタンを押し上げても接触不良を起こす可能性があります。このような場合は、保証期間内であっても、有償での交換が必要になります。

1-2 PCD-400A への取り付け

本器を PCD-400A の入力コネクタに差し込んでください。



PCD-400A

シールド端子

ご注意

- ネジ止めしない構造のため、PCD-400A に取り付け後は、本器に力が加わらないようにしてください。コネクタが突き当たるまでしっかりと差し込んでください。
- シールド線付のひずみゲージを使用する際は、シールド端子にシールド線を接続してください。アース接地は PCD-400A 側で行ってください。